

令和6年度 第1回西都中学校設立推進委員会会議録

期 日 令和6年6月5日（水）

場 所 議会委員会室

会議時間 10時00分から11時30分まで

出席委員

委員名	出欠	委員名	出欠	委員名	出欠
水本明男		中武三月夫	○	黒木利美	○
米良広行	○	山崎芳幸		江藤久成	
坂本光志	○	蛭原博康	○	金丸 昭	○
押川由美恵	○	長友裕之	○	根井 孝	○
財津雅尉	○	高松 泰	○	青山勇一	○
伊東泰彦	○	竹下英貴	○	渡邊常介	○
井上貴房	○	市瀬義弘		寺尾好洋	
齊藤幸紀	○	安藤和也	○	平郡智史	○
緒方寿行	○	倉永将平		壹岐秀洋	○
日高康史	○	阿萬一皓	○		

事務局 榎本教育長、重永教育政策課長、押川課長補佐、岩原課長補佐、佐伯主幹  
指宿学校再編専門監

- 議事日程
- 第1 開会
  - 第2 委嘱状交付
  - 第3 教育長挨拶
  - 第4 令和5年度第3回西都中学校設立推進委員会会議録承認
  - 第5 説明・協議
    - (1) 西都中学校設立推進委員会について
    - (2) 西都中学校設立推進委員会各部会について
    - (3) その他
      - 閉校式経費について
      - その他
  - 第6 閉会

1 開 会

事務局 皆様こんにちは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。それでは、ただいまより、令和6年度第1回西都中学校設立推進委員会を始めさせていただきます。お手元のレジユメに基づき進行させていただきます。

2 委嘱状交付

事務局 それでは、レジユメの「2 委嘱状交付」となっております。年度がわりに伴いまして委員の交代がありましたので教育長より委嘱状を交付させていただきます。本来ならば、お一人お一人にお渡しするべきですが、代表一名に交付させていただきます。

す。ほかの委員の皆様には、自席に配付させていただいておりますので、御確認ください。それでは、代表いたしまして茶臼原小学校PTA会長様お願いいたします。

教 育 長

(委嘱状交付)

### 3 教育長あいさつ

事 務 局

続きまして、教育長あいさつとなっております。西都市教育長がごあいさついたします。

教 育 長

皆さん改めましてこんにちは。今日はお忙しい中この会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。令和6年度がスタートしまして約2カ月ほどたちました。小学校におきましては、そろそろ水泳の時期でしょうし、それから地域づくり協議会が中心となって行っていております田植えの作業もそろそろの時期かなあと考えております。また中学校では各地区で各種目で中体連の試合があつて盛んに子どもたちが頑張っている姿が目に見えようでございます。2カ月たちましたので子ども達も学校生活に慣れて、慣れ始めた時期で、多分に不登校児童生徒が増えたりとか、いろんな水の事故等そういったものが懸念される時期にもなってきました。1学期の折り返しの時期ですので、非常に充実した学校生活を送れるように学校と保護者、地域の方々が連携していただいて、子ども達が安心、安全に学校生活を過ごせる体制をぜひ見直す時期にもあるのかなあという気はしております。どうぞ、子ども達の命を守る活動をまたこれからもお願いできればなと思っております。この西都中学校設立推進委員会も何年も設立してなりますけど、いよいよ令和8年度の西都中学校の開校に向けて2年を切りました。これからさらに準備を充実させなければならないと思っておりますけど、これまで設立委員会それから検討委員会の皆さんのおかげで着実に準備が進んでいるかなと考えております。ただまあ、今日参加いただいた方の中には9名の新たに任を受けていただいた方もいらっしゃいますので、新しい視点でいろいろ御意見いただきながら、西都中学校がスタートの時からいい学校だなあと言えるような学校づくりをぜひお願いしたいなあという風に思っておりますので、今日は、時間の中でいろいろ御意見いただければありがたいなあと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

### 4 会議録承認

事 務 局

それではここで、会の進行に当たりましてお願いを一つ申し上げます。これから説明協議等で発言をいただくこととなりますけれども、会議録作成のためお名前を述べられてから発言いただきたいと思っております。それから会議録作成のために録音をさせ

ていただいております。御了承ください。それから、机の上にマイクを置かせていただいております。発言の時は、マイクの手前の方にボタンがあるんですが、こちらを押してランプが光った状態で発言をしてください。発言が終わったらもう1回ボタンを押すとランプが消えますのでそのようにお願いいたします。続きまして会議録承認となっております。2月に開催しました令和5年度第3回設立推進委員会の会議録を御案内の時に送付させていただいておりますけれども、会議録につきましても、確認用に作成したものではありませんが、公表することも考えております。内容を御確認いただき、間違い等がありましたら訂正したいと思っておりますけれども、気になったところはございませんでしょうか。

事務局 それでは、お配りしておりました会議録を成案としまして、会議録につきましてもは終了したいと思います。

## 5 説明・協議

### (1) 西都中学校設立推進委員会について

事務局 それでは「5 説明・協議」に移ります。ここからは、西都中学校設立推進委員会設置要綱第6条の規定に基づき、本委員会の委員長に議長を務めていただきます。よろしく願いいたします。

委員長 議長を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。本日は委員の皆さん方の忌憚ない御意見をお聞かせいただきたいと考えております。大きく3つの項目がございますが、まず、一つ目の西都中学校設立推進委員会についてです。事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは私の方から本委員会について説明いたします。今年度の委員さんにつきましては、表紙の裏に名簿を載せております。御覧の通り、各地域づくり協議会長さん、各校長先生、各PTA会長さんで構成しております。資料の2枚目にこれまでの検討経過を載せております。本会は新しい委員会として、昨年10月6日に第1回を開催し、11月28日に第2回、今年度の2月27日に第3回を開催いたしました。主な内容は右に載っておりますが、各委員会の中に専門部会を開催し、本委員会に提案する資料の準備を進めております。従いまして、部会で検討したものを本委員会です承していくという形で、西都中学校の開校の準備を進めております。さて、振り返りますと、本委員会の全身である学校再編調査検討委員会は令和元年度にスタートしてございまして、令和3年度から新中学校設立推進委員会という専門部会を発足し、学校再編調査検討委員会に提案する事項を検討するという形で再編の準備を進めてまいりました。令和4年9月に学校名が西都中学校と市議会でも正式に決定しまして、制服や体育着、校章なども決まりましたので、学校再編調査検討委員会の役割を終えたと判断し、令和5年10月から西都中学校設立推進委員会として再スタートを切ったところですので。令和6年度、7年度に万全の準備を

行い、西都中学校をスムーズにスタートさせたいと思っておりますので、御協力のほどをよろしくお願いいたします。

委員長 ただ今の説明につきまして何か御意見、御質問がありますか。なければこの案を進めてよいということですのでよろしいでしょうか。ありがとうございました。西都中学校設立推進委員会につきましては御理解いただいたということで次に移ります。

(2) 西都中学校設立推進委員会各部会について

委員長 続いて西都中学校設立推進委員会各専門部会について説明をお願いします。

事務局 それでは続きまして私の方から本委員会各専門部会について説明いたします。この部会は、別紙1の裏面にある設置要綱の第7条に基づいて設置されております。この部会の委員さんにつきましては、各地域づくり協議会、各学校のPTA、西都市校長会に推薦をお願いし、推薦された方々で構成されております。今年度の委員さんにつきましては、別紙2の裏面に名簿を載せております。それでは、表面の別紙2を御覧ください。令和3年10月の新中学校設立推進委員会の発足以来延べ47回の各部会を開催し、折々の学校再編調査検討委員会や、西都中学校設立推進委員会に検討事項を提案してきております。この専門部会は西都中学校設立推進委員会のワーキング部会という位置づけとなっておりますので、それぞれの部会に割り当てられた用務について検討しその結果を本委員会に提案してくれることになっております。別紙2は当初各部会に割り当てられた用務とその検討状況を表しております。黒く塗ってある用務につきましてはその検討を終わり、本委員会でも承認を得ているものでございます。白抜きになっている用務について今後検討していくことになっております。今年度も若干のメンバーの交代がありましたが、引き続き部会長のリーダーシップのもと積極的に部会を開催していただきたいと思っております。部会の運営につきましても、残る課題の解決に万全の準備を行い、西都中学校をスタートさせたいと思っておりますので、各委員さんの御協力のほどをよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。校長先生方におかれましてはそれぞれの部会の部会長にもなっていると思っておりますけど、用務の中でまだ白抜きになっているところもあったと思っております。その辺を見ていただきながら、御意見とか御質問があればお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。PTA会長さんにおかれましてもそれぞれの部会に入っていると思っておりますが、新しく来られた方で確認しておきたいこととかございますでしょうか。各部会についてはそれぞれの部会長が会議を招集するという形ですよね。

事務局 はい、部会長さんと相談しまして、部会の委員さんと日程調整を行ったうえで、案内文書は委員長の名前で発送させていた

だいて、召集するという形です。地域・PTA 部会だけは紙の削減と  
いいますか、委員さんから提案がありまして、メールで案内  
をしています。そのような状況です。

委員長 各部会長の校長先生におかれましては、事務局から連絡・相  
談があるか、わからない場合は事務局と相談しながら開催日  
を決めていくということによろしいですか。

委員 地域の方からお話をいただいて、中学校のPTAの会長が決ま  
っているのか、決まっているという提案を今回いただいている  
と思うんですけど、その中で今回西都中になった時にどうい  
った形で役員を割り振りをしていくのか、今のPTA会長が役員に  
なっていくのか、それとも、そういった方々は別で西都中で作  
っていくのかということも含めてある程度早めに検討してい  
った方がいいのではないかとのお話もいただいたところ  
です。それがだいたいどれくらいまでに方針が出てくるのか、そ  
れと、今資料の進捗状況に白抜きがあると思うんですけど、こ  
の内容については、令和8年度の4月にすべてが決まるものな  
のか、それとも、例えば令和6年度中に決まるのか、どうい  
ったスケジュールでいかれるのかをお聞きしたいなという  
ところ  
です。

委員長 はい、ありがとうございます。そしたら、別紙2の進捗状  
況の表を見ながら進めましょうか。一番下のPTA役員の決め方  
についてが最初の質問だったと思いますが、事務局でよろしい  
ですか部会長の方でよろしいですか。

委員 地域・PTA部会の部会長です。PTA会則及び役員については令  
和5年度でほぼ固まりましたので、本年度は、今まで地域・PTA  
部会で話し合ってきた内容について、市のPTA連絡協議会の方  
におろしていきながら、今後本部会で話し合った内容がこれ  
でいいかという確認作業に本年度は入っていく予定です。それが  
終わり次第、また、市のPTA連絡協議会と相談しまして、各学  
校にいつおろしていくのかということはまた御相談させてい  
ただければと思います。

委員長 その他のスケジュールについてですが、今地域・PTA部会の方  
は説明がありましたが、総務部会は私から御説明したいと思  
います。白抜きになっているのが校訓と校旗があると思  
いますが、校訓については来月9日から校訓の策定に向けたワー  
クショップを開催いたします。本年度2回くらいワークショップ  
をして原案を作りながら、総務部会で揉んでこの会に諮りな  
がら、遅くとも来年度の上半期に、できれば来年度のこの会に御  
提案をして校訓を決定できればという風に思っておりますが、  
本年の7月から1年間かけて策定する予定でおります。まだ部  
会の方で揉んでおりませんので、また、だい2回目以降に提案  
したいと思います。校旗につきましてはすでに案が作成してあ  
りまして、事務局の方で業者を選定するというところで事務局  
よろしいですか。大体出来上がりがわかりますか。

事務局 実際に作成するのは来年度、令和7年度ということ  
で考えて  
ております。

委員長 開校には間に合うということになっております。続いて教務

部会の教育課程、学級編制、交流学习の所が空欄になっておりますが、こちらは。

委員 教務部会の部会長です。進捗状況につきましてはまだ把握しておりませんので詳しいことが言えないのですが、西都中学校を設立するにあたっての目指すもの、市の方針そういうものをしっかりと認識したうえで、教育課程、学級編制、それから交流学习というのはおそらく小学校に対しての交流学习ととらえていいのか、令和6・7年度内の交流なのかそこまで把握していないのですが、西都市内の子ども達が円滑に令和8年度から西都中として始動できるという体制を整えていければと思っております。教育課程につきましては令和7年度の12月は遅いのかもしれませんが、令和7年度の中盤辺りまでには皆さんにお示しできるようなところにまとめていければと思っております。

委員長 修学旅行とか大きな行事については大体大まかな時期はある程度構想がありまして細かい部分まだまだですけど、事務局から補足はございますか。

事務局 学級編制とありますけど、これにつきましてはある程度案が固まっております、3月に開催する予定で1回招集をかけたのですが部会長の都合がつかなくて開催できなかったという経緯があるので、今年度の第1回目の教務部会では学級編制について検討して次の本委員会に提案ができるのではないかと考えております。

委員長 交流学习については小学校での交流と考えてよろしかったですか。

事務局 小学生の間にほかの小学校と交流するということもあるし、中学校の1年生が3年生で一緒になるということもありますので、中学生についても何か交流する機会があればと考えております。

委員長 開校してからですが、中学3年生がさいと学アワードというさいと学の発表会をやっているんですけど、8年度からは西都中と銀鏡中でやるということになるのでそこも少し整理が8年度から必要かなという風に考えているところです。こちらは校長会でも検討していければと思っております。続きまして生徒指導部会の通学方法についてですがお願いします。

委員 生徒指導部会の部会長です。通学方法につきましては令和5年度で路線の確認とバス停の設置、発着時間についての検討をしています。5・6年生の人数が確定してからでないとバスの路線等決められませんので6年度7年度で調整をしていくことになると思います。

委員長 事務局の方で補足はございますか。確認ですけど妻中校区以外の希望者は基本バスが利用できる方向でよろしかったですかね。

事務局 妻中校区以外の方は希望する生徒は全員バスに乗れます。

委員長 続いて保体部会ですが、部活動のことについて把握していらっしゃるがあればお願いいたします。

- 委員 はい、保体部会長です。部活動につきましては昨年度までで中体連等大会参加について検討してきました。中体連の大会の参加については旧中学校で参加できるのは令和8年度の夏の総合体育大会までということで協議が進んでいます。8年度の大会にどのような形で参加するかについてはこれから検討していきたいと考えております。併せまして令和7年度夏以降の部活動の在り方については今年度検討が必要と思われまので、今年度中には方向性は出していきたいと思っております。令和8年度以降の西都中学校の部活動につきましては、人数が増える関係で活動場所の確保をどうするかというのが、大きな課題かなと思っております。とくに体育館、グラウンドに人が集中しますので、狭くなります。人数も増えると安全面の配慮が必要かなということでそこは検討が必要かなと思っております。併せまして部活動指導員の確保、それから部活の地域移行につきましては、指導員の人材確保も必要なんですけど、これで行くのか地域移行という形で進めていくのか、地域連携で進めていくのか、西都市内の場合を考えると検討が必要かなと考えてております。
- 委員長 ありがとうございます。保護者の方から、活動時間と地域の方が指導に当たってくださる場合に地域の方も仕事があって学校が終わって子ども達が早く始められるとしても指導者の方が来られないということもあるので、そこを含めて活動時間と活動場所、指導者の問題もありますので、また、部会でも御検討いただければと思っております。よろしく願いいたします。庶務部会の方はいかがでしょうか。
- 委員 これを見ても真っ白なんですけれども、どちらかという事務室主導でやる内容が非常に多いということで、今年度、妻中の方にも事務主幹が二人配置されております。この方々を中心にやるべきことを洗い出して進めていきたいと思っておりますし、それぞれの共同実施との連携を図りながら必要なものについては進めていきたいと思っております。
- 委員長 ありがとうございます。庶務部会の下部組織みたいな形で妻中の事務主幹が音頭とりまして、中学校の校長と中学校の事務主任を集めてやる内容とか洗い出しとか進めているところです。その内容を庶務部会に諮りながら進めていく予定になっておりますのでまたよろしく願いいたします。続きまして図書部会の方はいかがでしょうか。
- 委員 図書部会については備品運搬等の項目が残っておりますが、どの学校のどの備品を使うのかということと、市教委と相談しながら運搬費のどこあたりを詰めていきたいと思っております。
- 委員長 ありがとうございます。総務部会の中の開・閉校式が残っているんですけどこれは後からやった方が良いですかね。一番最後まで行ってから御意見いただこうかなと思っておりますが事務局よろしいですか。それでは開・閉校式典を除いたところで何か御質問ありませんか。
- 委員 先ほどの通学路の所で委員長が言われたのが気になったんですけど、今の妻中の校区内だけ遠いというので市の方から援助をいただいているんですけど、わりと校区が多分入り乱れてい

るところがあると思いますので、やっぱりバスじゃないと遠いというところも結構あると思います。そこ辺の把握はしっかりお願いしたいかなと思います。

委員長 茶臼原ですね。茶臼原についてはいかがですかね、方針が出てますかね。

事務局 今回の段階では茶臼原小学校は一応ルートに入っております。

委員長 認められないとなるとちょっと大変な子たちも出てくるので、把握の方をお願いしたいと思います。

委員長 茶臼原小学校の中に妻中の校区もあるんだけれども、茶臼原小学校の子ども達についてはバスが利用できるということでしょうか。

事務局 そこがもう少し整理したいと思いますけれども、ルートとしては考えておりますので、先ほど申しました妻中校区以外というのは説明の仕方を整理したいなと思います。

委員長 ほかにありませんでしょうか。

委員長 交流学习についてなんですけれども、各中学校の生徒がここ数年各地域づくり協議会が主催する行事等に参加していろいろと頑張ってくれている状況が多々あります。三財でもへそ祭りでも子どもたちが自分たちでいろいろと率先して、行事の中の内容を夏休み等から計画しながら本番で披露するという形をとっております。地域づくりの会長さんと話しても、中学校が一つになってからそこら辺の行事等への中学生の向き合い方がどうなるだろうかという不安の声もありまして、交流学习の中でできるだけ各中学校の出身の生徒たちの行事に対する向き合い方とか、残る小学生との連携等についてもこの2年間かけて検討してほしいなという思いがありますのでよろしくお願ひします。

委員長 ありがとうございます。やはりそこについても慎重に地域の願いというものをしっかりと組んでいながら検討していきたいと思います。

委員長 教育課程に中でやれるか教育課程外になるのかも含めてまた御検討いただければと思います。他にありませんでしょうか。

委員長 先ほどは質問に対して一つ一つ回答していただいてありがとうございました。どうしても令和7年度でなければできないこともあると思うんですけれども、以前のこの会議だったんじゃないかと思うんですけど、令和6年度中にある程度定めておいて、令和7年度については振り返る期間という形で1年間しっかり煮詰めないと令和7年度になってこれがなかったあれがなかったとならないように前もってしっかり来年度中に開校できるというぐらいの気持ちでいかないと令和7年度ドタバタするのかなという不安の声も私の方に届いておりますので、しっかりスケジュール感をもって、場合によってはこの会なり部会の回数を増やしたりとか、そういったところでやっていかないといけないのかなと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員長 貴重な御意見だと思いますので各部会の方で今の意見を反映

したスケジュール調整をよろしくお願いいたします。他にありませんでしょうか。それでは、各部会につきましても今の進捗状況で御理解いただいたというところでもよろしいでしょうか。ありがとうございます。

(3) その他について

○ 閉校式経費について

委員長 続いてその他に移ります。まず一つ目の閉校式の経費について事務局からお願いいたします。

事務局 前回一律 100 万円で提案しました閉校記念事業の経費につきまして、再度事務局で検討いたしました。まず、前回提案しました総務部会案は補助金として各学校一律 100 万円でした。これにつきまして、一部の委員から、「足りない」とか「市の予算が入っていない」という意見をいただきました。それが 2 の補助金上限額の考え方の案 1 です。そこで、案の 2 としまして、100 万円の定額に加えて、学校規模や地域規模により加算しまして、例 1 として生徒数に応じた加算、例 2 として地区人口による加算を行って提示しております。分収造林基金の取扱いにつきましては、先日、中学校校長会に出向きまして説明を行い御了解をいただきました。この事業費としましては、財源は分収造林基金であります。役所の費目としては補助金となりますので、前回提示した通り補助金となります。それから、これ以外の分収造林基金の用途につきましては、西都中学校設立推進委員会とは別の場で協議していくことになると思います。この補助金を交付するにあたりましては、1 の概要にありますとおり、事業実施団体への交付という形をとりますので、前回もお願いいたしましたが、3 その他にありますとおり、「〇〇中学校閉校記念事業実施委員会」という組織が必要になりますので、各中学校において設立してくださいませよう、よろしくお願いいたします。このような考え方で、今月 27 日に開催します総務部会において再度検討し、次回の本委員会に再度提案させていただく道筋になります。以上、総務部会で再検討する事項となりますが、現在、御意見があれば参考にさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

委員長 初めての方もおられるので補足ですが、今提案があったのは各校独自にやる閉校式典のことで、これと別に市の主催で 5 校合同の閉校式もそれに先立ってやるということですよ。そこについては今の時点での構想とかありますか。大体 2 月にやる予定だとか参加者はとか、まだ全然話し合っていないですかね。

事務局 それは前回提案した資料の中にあって日も 2 月 14 日金曜日ということで部会の方では案を持っておりまして、決定ではないんですけども、そのようなことで進んでおります。その後、各学校での閉校式を実施ということです。※ 2 月 13 日(金)

委員長 2 月 14 日、場所は市民会館でしょうか。

事務局 はい、そんなあたりを考えております。

委員長 参加生徒は話し合っていましたか。

事務局 はい、その時の全中学生です。

委員長 それで 2 月 14 日があった後に、各学校でということで今案が示されていますけど、今日ここで御意見をいただきながら、それ

を踏まえて、6月下旬の総務部会で検討したいと思います。補助金、各校の閉校式につきまして御質問や御意見があればお願いします。

委員 別紙3の各中学校の閉校式の案と書いてありますけど、この式次第の例の中に1から9までありますけど、各学校で一緒にするというでなくて、それぞれオリジナルをもってして、一応これはこういうことをやってくださいねということによろしかったでしょうか。

事務局 これの内容については案ということなのでこれにこだわらず、いろんなことを追加したりとか除いたりとか、そういったのは各学校それぞれで決めていただいたらよいのかなと思います。

委員 ありがとうございます。地域の方からの意見で、式典だけの動きのない話ばかりの閉校式じゃなくて動きのあるような閉校式もやってほしいなという声があったので、お聞きした次第です。ありがとうございます。

委員長 はい、ありがとうございます。他にありませんか。補助金の交付という考え方についてはいかがですか。特にありませんか。いずれの案にしても金額を見ると妻中とかまあ多めに組んでありますが、少ない学校もありますよね、その辺はいかがなものでしょうかね。

委員 造林基金の性質についてお聞きしたいと思います。そもそも論になりますが、中学校全体の基金なんでしょうかそれとも学校単体であるものなんでしょうか。

事務局 学校それぞれで持っているものです。ここにはそれぞれが保有する基金の内訳等は書いてないんですけども。

委員 いや金額は結構なんですけど、性質上、学校それぞれが持っているということであると、妻中学校側としては全く足りないという意見が多く出ております。が現状ではございます。性質上それぞれの学校で基金というもんが存在しているのであれば、そういったところをもう一度検討いただけないかというのが妻中学校の親からの意見です。

委員長 事務局の方いかがでしょうか。

事務局 たとえば具体的にいくらという意見があるんでしょうか。

委員 今ですか。今すぐ金額を言うんですか。

事務局 そういったものが積みあがっていくのかなあと思っていますね。

委員 ここでですか。

事務局 いえいえここじゃなくて結構です。

委員 そうですよ。ただ、今言ったのは造林基金が中学校単体それぞれであるものかどうかを確認したいというものでした。それがないと、上限100万円についても、案の2についても性質の違うものになるんでそこが根拠になると思うんですけども、実際足りないということです。

委員 今日の資料もですけど参考として山田分校が令和4年度に閉校式をした資料が載っているかと思います。令和4年度と言ったらご存じのとおりコロナ禍の中でやっていたかと思います。その中で100人程度呼んでこの金額でございまして、妻中からの御意見もありましたけど、このとき山田分校がどれだけの

人数いたかが自分も把握しておりませんが、そこはしっかり考えていただけるといいのかなと思います。一つ確認ですけども、この人口の割合とかも含めてすべて分収造林基金からということではなかったでしょうか。

事 務 局 員

今ここに示しているのはそういうことです。

そしたら、前回の会議でも私言ってますけれども、分収造林基金からのみで西都市からの単独のお金はないというところではなかったでしょうか。

事 務 局 員

今ここに示しているところではそういうところでは

何度かすみません、付け加えさせていただきます。単独でないということであるならば、先ほど言ったように造林基金の性質上もう少し幅を広げた方が良くはないというのが妻中学校からの意見というところであります。

事 務 局 長

あらためて参考にしてまた検討したいと思っております。

今妻中でいくらかかりそうなのかと今試算に入っております、一番お金がかかりそうなのが記念誌なんですけど、記念誌を作って希望者に購入してもらおうということになるとあまりかからないわけなんですけど、その時の在校生の各御家庭に配付するとか関係者に配付するとなったときに1冊いくらのものを何部配付するかで金額が全然違ってきますし、そういうところもありますし、記念碑は作る作らないでも変わってくると思います。そういうところで先ほど事務局からもありましたが、じゃあいくらなのかという問題もありますので、それぞれ学校でも検討を進められる時期かと思っておりますので、またこの件については御意見を出していただいて構わないのですが、総務部会の方でも簡単には決められないことになってくると思いますので、遅れば遅れるほど、結局、準備が遅れば記念誌の作成とかいろんな準備が遅れますので、ある程度結論は出さないといけないとは思いますがそういう認識で皆さん準備を進められる必要があるかなと考えているところです。その辺も含めまして何か御意見とか御質問とかほかにありますか。

委 員

先日学校運営協議会を行いまして、分収造林の中からおよそ100万円程度は使わせていただきたいというところで了承を得ているんですけども、お金をかければ、どれだけでも石を作る、記念誌もいいものを作るとかいくらでも金はかかると思うんですけども、はたして石、記念碑が必要なのかとかうちの協議会で出たのは必要なものについては補助金として使いますが、将来の子ども達のために残せる部分については切り詰めてやっていこうというような案が出ました。ですので学校によってやりたいことやるべきことはもちろん変わってくると思いますが、ここでお金を使うのがいいのか、残して将来の子ども達のために活用できる形がいいのかということも含めて検討していく必要があるかなと思っております。

委 員

参考までに教えていただきたいんですが、山田分校の閉校式をした時の財源はどういったものを使われたとか、閉校式典を計算すると記念碑と文集で67万ぐらいですかね。残りが閉校式典費用だったのかとかそういったことも示していただけると

- 各学校の参考になるのではないかと思います。
- 事務局 すみません手元がないので細かいことは言えませんが、実際に閉校式典に係る使用したもののというのはお花代だったり、案内状の送付に係る郵便料だったり、閉校式典そのものに係るものとしてはその程度だったかなと記憶しております。財源は市の補助金です。
- 事務局 いろんな御意見があろうかなと思うんですけども、閉校に当たっては今回一番は子どもたちそれから保護者の方々そしてそこに住んでらっしゃる卒業生を含めて地域の方々の思いを大事にしなければならないかなあと考えています。ただ、やっぱりいろんな意見をいただきながら総務部会等で案を練っていただいてこの場で決定するという道筋が立っていくと思うんですけども、一番重要なのはそういう思いも配慮しつつも、無条件に上限なしでそれぞれの地区で使ってくださいとやってしまうと、いろんな差が出てきてしまう可能性が十分あるし、先ほど委員が言われましたけども、未来の子ども達にしっかり残していくのもやっぱり一つの考え方かなと考えると、例えば、それぞれの中学校区の小学校に一部移管をし、残ったものについては西都中学校に全部集めて西都中学校で自由に使えるお金として残すという方向、そういったところも含めて考える必要があると思いますので、意見はいろいろいただきましたので、今後、総務部会と事務局の方で案を練りながら進めていければいいかなと考えておりますのでよろしく願いいたします。
- 委員長 残ったお金をどうするかということもあるし、駆け込み需要じゃありませんが、この際使えるだけ使うという考え方もどうかかなというのがありますし、それぞれ地域の方の思いとかあると思いますので、大変難しい問題ですけども、総務部会で検討しますが、各学校で意見が出た場合は随時、御連絡いただければと思っております。事務局に確認ですけど、例えば上限は100万となった場合で150万使いたいといった場合に足りない分は各実施団体が寄付金を集めるとかそういうことについてはいかがなもんなんでしょうか。そこについては、現時点ではお考えはありますか。
- 事務局 最後のその他にもありますけども、それ自体は特に問題ないのかなと思っております。
- 委員長 自主財源を加えて実施しても構いませんということでよろしく願いいたします。
- 委員 先ほど山田分校の時の閉校式のお金を補助金ということだったんですけども、その補助金というのは学校分収造林基金をもとにした補助金だったんでしょうか、それとも別財源での補助金だったんでしょうか。
- 委員 市の財源の補助金でした。分校自体が分収林を持っていなかったということもございます。
- 委員長 今回については各中学校が分収造林基金を持っているということですね。この件に関して他にありませんか。
- 委員 確認したいんですけど、令和7年度まで残ったPTA会費というのはその後どうなるんでしょうか。

- 事務局 その他のお話でお願いしようと思っただけなんですけど、その後PTA会長さんに残っていただいてこの件についてもお話をさせていただきます。基本的には西都中に残していただくお金以外は使い切っていただくということで考えています。
- 委員長 他にありませんでしょうか。
- (4) その他について
- 委員長 では、閉校式経費以外のことについて事務局からありますか。その他で。
- 事務局 私の方から2点連絡があります。まず1点目ですが、各所属で新しい部会委員がおられる場合は、机上の封筒に入れておりますので、各所属で配付していただきますようお願いいたします。2点目は各PTA会長さんに連絡いたします。この会終了後、引き続きまして地域・PTA部会と西都市PTA協議会の連携につきまして確認を行います。そのままお残りくださいますようお願いいたします。
- 委員長 ありがとうございます。他にありませんでしょうか。
- 委員長 今年の1年生から新たな制服なりスリッパになって、ちょっと意見があったのが、今のスリッパがそれこそ1年生の保護者からだったんですけれども、勝手に悪いというかつまずくというようなお話を聞きました。それぞれの中学校の校長先生とまたそういった御意見等が上がってきているのかなと、市にそんな話が上がってきているなら今後検討が必要なのかなと思ったところです。
- 委員長 以前生徒指導部会やって、スリッパの学校がいくつかあったんですけど、妻中と穂北中だけがシューズであとはスリッパじゃなかったかなと思うんですけど、スリッパが勝手に悪いという意見は一切なかったですね、その時点では。あと、今日なんですけど保護者の方から上級生もスリッパを購入させてほしいんですけども買えるんでしょうかという御意見もありまして、うちの学校については不満も聞こえてませんが、あればまた検討しないといけませんけど。確かに走るときとかは勝手に悪いですけど。シューズに比べると走りにくいですけどそもそも学校生活の中で避難訓練の時以外は走ることはないんですけど、確かにシューズのメリットというのは海岸近くの学校であったりそういう時にはあるんですけどね。もしシューズがいいんだがという御意見があった場合にはまた検討していきたいと思います。他にないでしょうか。
- 委員長 各学校の校長室にある校長先生の写真、それにPTA会長さんの写真ありますよね、写真をどうするのかというのがまだ決まっていなかったんですけれども、新しい学校ですねどこに飾るとかいろいろあるかもしれませんが、なくすのかもしれませんが、一応協議してもらいたいという風に思います。
- 事務局 再編、統合したほかの学校の様子を見ると各学校のものを集めて掲示しているところが多い気がしておりますので、何がしか、西都中学校に集めて掲示するという形を中心に検討していこうかなと思っております。
- 事務局 一つの事例として紹介しますが、五ヶ瀬町立三ヶ所中学校の最後の校長だったんですね。閉校させました。その時には三ヶ所

中学校と隣の鞍岡中学校の歴代校長と歴代PTA会長の写真は一つのパネルにしまして、ちっちゃくなりますけど保護者の写真等入れながらレイアウトしてそれを校長室に飾るようにしていました。それは総務部会かどこかで検討した方が良かったかなという風には思いますね。

委員長

いずれにしても何らかの形で残してほしいということで検討してもらいたいということでしょうか。総務部会で検討するということになりますかね。他にないでしょうか。ありがとうございました。これで協議の方は終わりたいと思います。あとは事務局の方またよろしく願いいたします。

5 閉会

事務局

様々な御意見、御審議ありがとうございました。次回につきましては各専門部会の開催状況を見ながら開催したいと考えております。改めて日程調整の文書を送付させていただきますので、回答のほどよろしく願いいたします。

以上で西都中学校設立推進委員会を終わらせていただきます。  
ありがとうございました。